

## 帰国

しっぽのカールしたねずみは花屋の前の  
吹きさらしの台の上から彼女にもらわれ  
今頃はきっと暖かな机の陽だまりの中  
今頃はきっと暖かな彼女の優しさの中  
にっこり笑って彼女を微笑ませているかしら

僕が彼女に残すことのできたのは、きっと  
そんな小さなお前という特派員だけなのだから  
お前は僕の代わりに彼女を微笑ませておくれ  
もし彼女がお前を見るのが辛いと言ったら  
その時はこの僕のところへ帰りたいとお言い

きっと願いをかなえてくれるはず  
そうしたら今度はお前はこの僕の前で  
カールしたしっぽを振ってしっかりと  
僕を慰めるためにあいさつをするのだよ  
そうしたら一生めんどうみてあげるから

(1984.2.24)